

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②事業者情報

名 称：瑞浪市立竜吟幼児園	種別：保育所
代表者氏名：加藤 里美	定員（利用人数）： 80 名
所 在 地：瑞浪市釜戸町2821-2	Tel 0572-63-2056

③総 評

◇特に評価の高い点

瑞浪市立竜吟幼児園は、幼稚園・保育所一体型の幼児園である。瑞浪市の幼保一体化への取り組みは早く、平成15年に幼児教保育特区認定を受け、平成16年から5歳児の幼稚園・保育所合同活動を開始している。

当園は平成15年に幼保一体化を開始（5歳児のみ、瑞浪幼稚園竜吟分園）し、平成18年に現在の名称である竜吟幼児園となる。当園は北側にJR中央本線が走り、駅に近接であるが、自然環境に恵まれ、地元には、幼児園自身の名称にも戴く土地の名勝やその伝承とモニュメントがある。園児たちは緑豊かな竜吟湖周辺の散歩や植物観察、バードウォッチングなど「自然ふれあい館」との関わりを通し、自然への興味を深めながら、のびのびと育っている。また地域の人々と日常的に接する機会も多く、お年寄りの「こぶしの会」との交流で昔遊びの指導を受け、楽しんでいる。

訪問時には、室内での活動で子ども達が保育者によく注目する姿や屋外でおもいきり声をあげて、伸び伸びと駆け回る様子が見られた。子どもらしい集中と子どもらしい躍動のバランスが良く、指導が行き届いていると感じた。

当園は、8か月からの未満児保育を実施するとともに、3歳児以上の異年齢活動が行われている。園のテラスが広いので、雨の日の遊びや異年齢交流の活動はこのテラスの下で行われているとのことである。またここには平成24年より市内4か所にある子育て支援センターのひとつである“スマイル”が併設されているが、来園する保護者と未就園児が幼児園の雰囲気慣れ、子ども同士の触れあいの場となっている。当園の職員はスマイルの職員と常に情報交換し、手作り遊具を一緒に作り、共有して遊んだりする等地域の子育てを応援する活動の場となっている。

少人数の園である特徴を生かし、全員がチーム一丸となり、子どもたちの保育にあたっている。全員が一堂に会することができる事務室があり、そこで、何事も検討し、連帯感を醸成してい

る。また当園の基本的な方向性を示す「経営構想」や「研究構想」図は事務室に掲示され、職員の保育への意識を高めている。

◇改善を求められる点

職員の年間研修計画があり、積極的な研修が行われている。また目標管理制度を導入し、個別のフィードバック面談を実施し、振り返りを行っているが、まだ経験が浅く、しかしこれから期待される人材である若い保育士たちの成長のためにもさらなる今後の教育、指導に期待する。そこで一つの案として、職員の自己研鑽を一つの項目としてとらえ、目標管理を活用し、自己のスキルにおける課題を把握し、年間を通してキャリアアップすることを目指すべく、自ら取り組む年間個別研修計画の作成についても検討されたい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

総評については、園の特色とそれを生かしての保育への取り組みについての的確に捉えていただき、それが園の良さとして評価され、うれしく思いました。特別な保育を展開しているわけではありませんが、この地域や園児の姿に合わせた保育の在り方を今一度振り返り、今後の園経営に生かしていきます。又、こうした保育に対し、職員が同じ思いで進める努力をしているという評価も今後の励みとなりました。

共通項目、専門項目についても高評価でこんなにしっかり取り組んでいるのだろうか、返って心配になりました。しかし一つ一つの評価を職員で読み返しなが、自分たちのやるべきことを今後も意識を持って取り組まなければいけないと確認し合いました。

支援センターと連携できる良さ、地域性の良さ、異年齢活動や生活の困り感からくる運動遊びの充実など大切に、子ども育ての方法としていきたいと思ひます。

職員の自己課題を明確にし（自己評価による面接の充実）自ら研修に臨もうとする職場の雰囲気作りに心がけたいと思ひます。（自己研修計画の作成）

今年度、第三者評価を受けさせていただいた事により、マニュアルの見直しや作成、職員の保育に対する意識の向上に繋げることができました。未来を担う子どもたちの為のより良い園作りに一層励みたいと思ひます。

⑤評価細目の第三者評価結果（別添）